

天理よろづ相談所病院 総合内科

病院 & 部署名（研修プログラム名）・指導医名

天理よろづ相談所病院 総合内科（内科ローテーター、総合内科ストレーター、医員）
指導医：八田和大、石丸裕康、東光久、橋本就子

住所・連絡先

〒 632-8552 奈良県天理市三島町200番地
連絡先：見学などは人事課 jinji@tenriyorozu.jp までご連絡ください。

診療科名

総合内科

研修プログラムの目標としている医師像

専門的な臓器別の診療だけでなく、内科全般やさらに医療周辺の社会機構にわたる幅広い知識や経験を基礎にバランスよく患者を診療する能力を持ち、後輩に対しても指導能力を兼ね備え、各部門でリーダーとなり得る医師。

スタッフ人数

2014年度スタッフ：4名（男性3人、女性1人）

レジデント人数

2014年度レジデント：7名（男性5人、女性2人：内科ローテーター6名＋総合内科ストレーター1名）

当直

救急当直が月1-2回。総合内科当番（宅直）が月4-6回。それ以外に内科ローテーターはローテ先の当番に専門科SRとして月3-5回（科によって変動あり）入る。当直明けは帰宅不可。

診療科独自の病床数

35～45床。膠原病、腎臓、感染症、原発不明癌をメインに不明熱、高齢者の複合疾患など幅広い疾患を担当している。

研修終了後の主な進路

当院各専門科（総合内科、循環器内科、呼吸器内科、内分泌内科、神経内科）、大学院（京都大学 膠原病内科、慶応大学 血液内科など）、他病院（東京ベイ浦安市川医療センター 総合内科、北野病院 神経内科、浦添総合病院 救命救急センター、国立がんセンターなど）

勉強会やカンファレンスの開催曜日・時間とその概要

毎朝：モーニングカンファレンス（通称 朝カン）

ジュニアレジデントが担当した全患者について暗記でフルプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションやアセスメント&プランに対して質問やコメント、指導を行う。

毎月第一月曜日：M&Mカンファレンス

院内の転帰不良症例について振り返り、原因検索/再発防止のため病院全体でディスカッションする。

月2回火曜日：プチカンファレンス

総合内科スタッフ、ローテーター、ストレーターが集まり科全体について現在の問題、方針について話し合う。

毎月1回火曜日：CPC

病理部門と協力の上、毎月1回開催。

毎月曜日夕：腎生検カンファ

腎生検症例について病理部との検討会

毎週火曜日朝：退院前カンファレンス

病棟の退院調整必要例について、看護師・リハビリスタッフ・連携室と多職種で検討する。

毎水曜日昼：感染症カンファレンス

症例検討や、当院検査室のデータ統計など、感染症関連について、検査室・感染制御部医師・臨床検査部医師との合同の勉強会。

毎週金曜日：総合内科カンファレンス

ローテーター/ストレーターが外来症例/入院担当症例について相談する場。

また、TENIS (TENri Infectious Seminar) や TENGSA (TENri Gram Stain Academy) などの JR に対しての感染症の講義を有志で行っています。

京都GIMカンファレンス、関西若手医師フェデレーション、山添村カンファレンス（奈良県総合診療系の合同症例検討会）、万葉衆（奈良県家庭医療研究会）、ななかん（奈良の研修病院間の勉強会）を含めて外部勉強会にも参加している。

具体的な研修内容紹介

・内科ローテートコース

3年に渡り各科を2-12ヶ月の範囲でローテートする（例：神経内科4ヶ月、放射線科4ヶ月、呼吸器内科6ヶ月、腎透析科2ヶ月、循環器内科3ヶ月、総合内科4ヶ月、消化器内科3ヶ月、血液内科3ヶ月・・・など。ローテートの内容についてはフレキシブルに対応可）。各科ではスタッフの先生方のサポートを受けながらも時間外も含め専門科シニアレジデントと同等の仕事/当番をこなす。

加えて総合内科ではジュニアレジデントの指導医として2-5名の患者を担当する。総合内科ローテ中は8-15名を担当し、病棟の管理者として全体のマネジメントや退院調整にも係る。また、朝の症例カンファレンスに出席し、ジュニアレジデントのプレゼンテーションにコメント、指導を行う。

また週1回総合内科外来に出ることで、高血圧/糖尿病などのCommon diseaseから膠原病/腎臓、また他科や他病院からのコンサルト症例までを担当し多彩な症例の経験を積むことができる。

1年おきの契約更新になっているので、内科ローテートを1年行い他科へ移ることも可能である（消化器、呼吸器、放射線を1年かけてローテし循環器内科に進んだ例もあり）。

・総合内科ストレーターコース

1年間の内科ローテートは義務付けられている。

それ以外の2年間は総合内科専属となり、ジュニアレジデントの指導医も含めて膠原病・腎疾患（腎生検も含める）をメインに担当する。外来はローテーター同様、総合内科外来を週1回担当する。膠原病外来を担当することも検討している。

- ・ 取得可能専門医：内科学会認定医・総合内科専門医
- + α の研修で取得可能：日本リウマチ学会リウマチ専門医・日本感染症学会感染症専門医など

その他自由記載

プログラムの特徴

- ・ 総合的診療を行える医師を育成するという基本は堅持しつつも、将来の志向にあわせてフレキシブルに対応をしています。
- ・ 修了医師の進路は幅広い能力を持った内科サブスペシャリティ専門医、総合内科・総合診療、臨床研究、プライマリ・ケア、救急医療など多彩であり、どのようなコースにすすむ医師にとっても対応できるプログラムです。
- ・ 総合内科はもちろん、全診療科の指導医が全面的にバックアップ・指導します！
- ・ 田舎ですが、周りには奈良/橿原そして天理にも歴史的建造物がたくさんあります！高速道路は発達しており大阪へのアクセスはいいです。
- ・ 熱意のある初期研修医をはじめ、他の専門診療科コースの後期研修医とも一丸となって、切磋琢磨し、より良い研修を求める風土が受け継がれています。